

平成28年度の主な事業

予算の主な使い道(歳出)を紹介します。

I. 住みやすい池田町の創造(地方創生事業)

- ①池田町に仕事をつくり、町民が安心していきいきと働ける
 - ・IT・SNSを活用した特産品の情報発信事業 [627千円]
池田町において販売サイトを立ち上げた。特産品を販売して、販売者の収入と仕事に対するやる気をアップさせ、後に自主運営できるようにサポートする。
 - ②町民が町に愛着を持ち、PRできるようになることで、新しい人の流れをつくる
 - ・池田山を活用した観光交流ツアー創出プロジェクト事業 [3,413千円]
池田山を中心とした自転車での体験・交流ツアーを設定し募集していく。また、中央公民館と道の駅池田温泉にレンタサイクルを各10台配置して池田町を周遊し、満喫してもらう。
 - ・町民による池田の魅力の再発見及び多様な情報発信事業 [648千円]
池田町民に池田町の情報冊子を編集、作成してもらい、池田町の魅力の再発見を図る。
 - ③若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる
 - ・若者コミュニティの活性化事業 [880千円]
若者が気楽に集まれる同窓会を支援し、コミュニティの活性化を図る。またイベントの開催を支援して、異性と話す機会や結婚を考える機会をつくることで結婚へつながるようにサポートする。
 - ④中高生と社会をつなぐなど、時代に合った地域をつくる
 - ・池田町版体験キャリア教育開発推進プロジェクト事業 [2,925千円]
未来の池田町をになう中学生と池田高校生に対して英検や漢検といった資格取得に対して助成を行うことで学生の質を高める。またキャリア教育コーディネーターをおくことで池田町の教育について現場教師と新たな職場体験のあり方や企業展についてともに考え、情報共有し、教育の質を高めていく。
 - ・町の人財を活かした地域コミュニティの活性化事業 [310千円]
池田町にはいろいろな技術、能力を持った達人がみえ、その方々から学び体験するプログラム・講座を開催することで学校・職場・自治会以外の人とつながる機会をつくり多世代間交流が行えるようにする。

II. 人口減少にストップ(少子化対策)

- ①子育て支援対策
 - ・病児・病後児保育事業 [6,112千円]
子どもが病気に関わらず、仕事や冠婚葬祭等により家庭で看護ができない保護者に代わり、一時的に「病児・病後児保育室 ひまわり」において児童を預かる。
平成28年度から3人以上子どもがいる世帯の利用は無料とする。対象人員60名
 - ・放課後児童クラブ事業 [20,980千円]
仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育で、対象を小学校6年生までとする。利用予定者数:156人
 - ・福祉医療扶助事業 [116,127千円]
子どもの医療費を無料化することで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができる。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	1,435	46,131
児童・生徒扶助	2,223	51,438
高校生等扶助	802	18,558

②教育環境、施設の充実

- ・小学校空調設備設置事業 [127,978千円]
温知・八幡小学校に空調設備を設置し夏冬の時期も快適に学習できる環境を整備する。これで池田町内のすべての小学校に空調設備が設置される。
- ・海外派遣事業 [2,900千円]
中高連携した外国語活動の一環として中学生10人、高校生5人をニュージーランドへ派遣し、ホームステイや福祉施設訪問を行い、グローバルな人材を育てる。
- ・特別支援教育支援事業 [23,360千円]
学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整える。
支援員配置校:温知小5人、八幡小1人、池田小1人、池田中1人
アシスタント配置校:温知小3人、八幡小2人、宮地小3人、池田小2人
特別教育支援アドバイザー:1人
平成28年度は支援員を2人増員して、体制の充実を図る。
- ・少人数学級指導支援事業 [9,557千円]
一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行う。
対象校:温知小4人、八幡小4人
平成28年度は講師を1人増員して、体制の充実を図る。

- ・外国語活動推進事業 [15,249千円]
ALT(Assistant Language Teacher)のほか、町独自に講師を3人配置し、小中学校における英語授業の充実を図る。
- ③スポーツ振興対策 [700千円]
・スポーツ選手強化事業
2020年の東京オリンピックを見据え、町ゆかりの選手・団体の競技力向上に向けた支援を行う。また、法政大学バドミントン部の強化合宿が、町総合体育館で行われるのに際し、併せて町内のスポーツ少年団等に対する指導教室も開催する。

III. 安全、安心で快適な環境整備

- ①公共交通の充実 [18,978千円]
・コミュニティバス運行事業
住民移動手段確保のため、巡回線、北回り線、南回り線、役場～市橋線を運行する。
- ・養老鉄道存続支援事業 [47,017千円]
沿線市町と協調し、養老鉄道存続に向け補助金の交付や利用促進を図る。
- ②生活道路・橋の整備 [54,500千円]
・地域基盤整備工事
池野杉野線・道路整備 33,000千円
舟子1号線、小寺池野線・舗装修繕 14,500千円
橋梁修繕 7,000千円
- ・地域基盤整備測量設計業務 [25,100千円]
測量設計委託(1路線)及び橋梁点検業務委託(12橋)、橋梁修繕設計業務委託(5橋)
- ・橋梁維持修繕 [11,900千円]
道路法施行令の改正に基づき橋梁点検を行い、橋梁塗装5橋、自主点検を51橋行う。
- ③快適環境の整備 [8,849千円]
・町有施設LED照明修繕事業 [8,849千円]
町有施設灯の老朽化、マイマイガ対策としてLED照明に切り替える。
- ・自治会防犯灯LED照明切替事業 [8,756千円]
自治会所有の防犯灯の老朽化、マイマイガ対策としてLED照明切替に対し補助。(平成29年度までの整備について、補助率を3/10から7/10に拡充)
- ・リサイクルセンター建設事業 [37,986千円]
片山南地区にリサイクルセンター建設のために建設用地を購入し、地形測量、地質調査、基本設計を行う。
- ・女性消防団活躍事業 [166千円]
女性消防団員が新たに1名入団して3名となる。独居老人の訪問などを行い、女性の視点で町全体の火災予防活動の啓発や広報活動を行う。

IV. 観光交流で交流人口増加

- ①観光資源のブラッシュアップ [598千円]
・池田山麓花畑構想事業 [598千円]
池田山麓霞間ヶ溪に花畑を整備するために構想を策定する。
- ・ふれあい街道改良事業(藤代地内) [16,000千円]
ふれあい街道の見通しの悪い曲線部を改修し、通行者の利便と交通安全を図る。
L=170m、W=6.5m
- ・池田温泉本館リニューアル事業 [78,816千円]
池田温泉本館はオープンから20年を迎え、レイアウトの見直し、バリアフリー化、ボイラー・サウナ設備などの機器更新等といったリニューアルを行い、年間入浴者数55万人を目指す。

②観光資源の魅力発信

- ・コンテンツマネジメントシステム活用事業(ホームページリニューアル) [2,133千円]
リニューアルしたホームページを活用し、池田町の魅力を発信する。
- ・町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業 [4,956千円]
住民に周知されてきた町のマスコットキャラクター「ちゃちゃまる」を活用し、更なる池田町のPRを行う。また11月に愛媛県松山市で行われる「ゆるキャラグランプリ」にエントリーし、広く全国にもPRを行う。

V. 町政経営の健全化

①施設の効率化、合理化

- ・共同学校給食センター建設事業 [1,224,876千円]
平成29年9月の供用開始を目指し、大野町との共同学校給食センターを整備する。
- ・公共施設等総合管理計画策定促進事業 [6,977千円]
施設の保有状況、将来人口推計、財政分析、インフラ資産台帳等を作成し、公共施設等の集約化・複合化等に踏み込んだ計画を策定する。

②行財政改革の推進

- ・ふるさと納税推進事業 [200,000千円]
国のふるさと納税の拡充に呼応し、組織体制を強化して昨年度より返礼品の充実を図ることで、町の魅力を全国にPRしながら税収の増加も図る。
お礼の品数 H27当初:32品目→H28当初見込:71品目(H28.2.23現在)